



**白石市中央公民館**

—市民ひとり 1学習・1スポーツ・1ボランティア—



▲カヌー体験 (わんぱく少年教室)

**概要**

社会教育課と中央公民館の業務は共通性があり、協力関係にあることから整理統合し、社会教育課を中央公民館に移設。今年4月から社会教育課職員が中央公民館職員を兼務しています。また、同じく4月から地区公民館の管理運営を各地区の皆さんにお願いしたことに伴い、地区公民館の支援体制を強化するため、社会教育課内に「地域支援係」を新設しました。

社会教育課(総務係、社会教育係、スポーツ振興係、文化財係、地域支援係) = 中央公民館

**平成17年度重点推進事項**

**心豊かで生きがいのある生活の創造と連帯意識に満ちた活力ある地域づくり**

- 1 社会教育の推進体制の充実強化
- 2 青少年育成の充実強化
- 3 家庭教育支援の充実
- 4 家庭・学校・地域の連携と融合による教育力の強化推進
- 5 芸術文化活動の振興と文化財保護思想の普及・保護体制の強化
- 6 生涯スポーツ・地域スポーツの推進



▲さい川子ども居場所づくり (孫太郎ひろば)

**特色**

**生涯学習の支援と  
 活力ある地域づくり**

- 市民の多様化、高度化する学習要求に対応するために各種教室、講座を開設しています。
- 家庭教育の充実を図るため、子育て学習、情報交換、親子遊びなどが共に行えるよう「子育て支援学習会ほっぴんちよ」を開催しています。
- 地域ぐるみによる、子どもたちとのさまざまな体験活動や、地域住民との交流活動などを支援しています。



▲高齢者大学 (国際交流)

**芸術文化の振興と  
 自然環境・文化遺産・文化財の保護と活用**

- 市民の多様な芸術・文化活動や伝統芸能の伝承と普及活動を積極的に支援しています。
- 自然環境の保全や文化財の保護・保存などにより、文化遺産の伝承と活用を図っています。



▲遺跡発掘の様子 (鷹巣古墳群)

**健康増進と体力の向上を目指す  
 生涯スポーツの推進**

- 総合型地域スポーツクラブに向けた組織づくりと指導者の育成に努めています。
- 市民の健康福祉増進のため、ニュースポーツの普及振興を図っています。



▲ニュースポーツ講習会 (スポーツチャンバラ教室)

今年も市内の中学2年生男女8名が、7月21日から11日間の日程で姉妹都市のオーストラリア・ハーストビル市を訪問して、国際理解と交流を深めました。今月号では、生徒と引率の先生の感想文を紹介します。

**11日間の宝物**

東中学校2年 齊藤 汐梨さん

オーストラリアでの11日間。それは、私にとって宝物のような大切な期間になりました。

初日に待ちかまえていたホームステイ。今となってはいい思い出ですが、私にとって一番の不安と緊張は、このホームステイでした。家に靴のまま入ること、シャワー、食事。何もかもが初体験のことばかりで、あせりが募ってきました。初日は、何をしようのかわからず、あまり自ら行動に移すことができませんでした。(このままでは、何の思い出も作れない。積極的に話して、楽しく過ごさなければ、何のためにオーストラリアまで来たのかわからない。)と、プラス思考に転換。次の日からそれを実行し、こちらからさまざまなことを聞き、話しかけました。そのことで、相手も話しやすくなったのでしょうか。話しかけ、楽しい会話をすることができました。



学校への体験入学。ホームステイの家族と私が学校へ行くと、たくさんの人たちが気軽に声をかけてくれて、とてもうれしかったです。そのおかげで、私の緊張がほぐれました。また、一つの学校に、さまざまな人種の生徒が通っていたのも、私にとって、びっくりしたことの一つでした。同じ人間として、差別なく相手を理解しようとする姿勢が、みんな一緒に授業を受けられる理由だと思います。

私は5日間のホームステイで「いくら言葉が違ってても、伝えようとする努力と、わかろうとする姿勢を持ち、お互いの心が通じれば絶対に言葉は通じるんだ」ということを身を持って感じました。ホームステイは、これからの私に自信を与えてくれた思い出の日々になりました。

「ハーストビル市訪問」で、私は何か変わった気がします。オーストラリアなどの海外の見方、言葉のとらえ方、そして自分が住む日本の見方も。この11日間の訪問を無駄にすることなく、これからの生活に生かしていきたいです。

こんなに素晴らしい体験ができたのも、オーストラリアの人々の優しさはもちろんのこと、両親、先生方、友達、11日間を共にした8名の訪問団員、そのほかお世話になった方々のおかげです。本当にありがとうございました。その感謝の気持ちと一緒に11日間の宝物を忘れないでいきたいです。

**日本とオーストラリアのかけ橋になる8人と共に**

白石中学校教諭 高橋 恵志

姉妹都市ハーストビルの人々、ホストファミリー、体験入学した学校の生徒たち、みんなおらかで親切でした。何もかもわからない私たちを快く受け入れていただき、家族と同じように接してもらいました。本当に安心して生活することができました。



国土、文化、言語、人種、宗教、が違ってても人のやさしさ、思いやりの心、仲良くなろうとする気持ちは変わらず、まったく同じでした。

異なる文化や生活習慣であってもそれを受け入れ、認め合い、互いに尊重しあう心があればみんな仲良くなれます。真の国際人になれるはずですよ。

このことを身をもって体験できたことが今回の訪問の最大の成果でした。目に見えない貴重な宝物になりました。

これから白石とハーストビルのかけ橋、日本とオーストラリアのかけ橋、世界のかけ橋になるために何をすべきかを生徒ひとりひとりが胸にしっかり刻んだ意義のある姉妹都市訪問でした。わずか11日間のオーストラリア訪問でしたが生徒たちは大きく、たくましく成長しました。



最後に、このような機会を与えていただいた皆さんに対し心から感謝いたします。